

1. 湖内の状況

(1) COD (図1)

全水域平均で 7.7 mg/L となり、令和6年度 (7.6 mg/L) より 0.1 mg/L 高くなった。長期的には横ばいで推移。平成10年度以降、西浦よりも北浦の方が高い濃度で推移している。

第8期計画期間中 (令和3～7年度) は、目標値 (6.9mg/L) よりも高く推移しており、目標を達成しなかった。これは、高い気温や長い日照時間などの気象による影響であることが示唆された (資料1-4 参照)。

(2) 全窒素 (図2)

全水域平均で 0.94 mg/L となり、令和6年度 (1.0 mg/L) より 0.06 mg/L 低くなった。長期的には横ばいで推移。平成22年度以降、西浦よりも北浦の方が高い濃度で推移している。

第8期計画期間中は、目標値 (0.88mg/L) より低く推移した時期があったものの、目標を達成しなかった。

(3) 全りん (図3)

全水域平均で 0.089 mg/L となり、令和6年度 (0.081 mg/L) より 0.008 mg/L 高くなった。長期的には横ばいで推移。平成18年度以降、西浦よりも北浦の方が高い濃度で推移している。

令和4年度以降は、目標値 (0.095 mg/L) よりも低く推移し、目標を達成した。

図1 COD(年平均値及び75%値)

水域/年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 目標
西 浦	6.4 (7.2)	6.7 (7.0)	7.2 (7.5)	6.9 (7.2)	7.5 (7.8)	7.2 (7.4)	7.5 (7.4)	6.4 (6.8)
北 浦	7.8 (9.2)	8.7 (9.0)	9.0 (9.4)	8.9 (9.5)	9.0 (9.3)	8.3 (8.6)	8.5 (8.7)	8.2 (8.7)
常陸利根川	7.1 (7.8)	7.1 (7.4)	7.6 (8.0)	7.2 (7.4)	7.5 (7.9)	7.7 (8.1)	7.6 (7.9)	6.8 (7.2)
全水域平均	6.9	7.3	7.7	7.5	7.8	7.6	7.7	6.9

※カッコ内の数値は 75%値

環境基準値(75%値):3.0

※グラフは年平均値

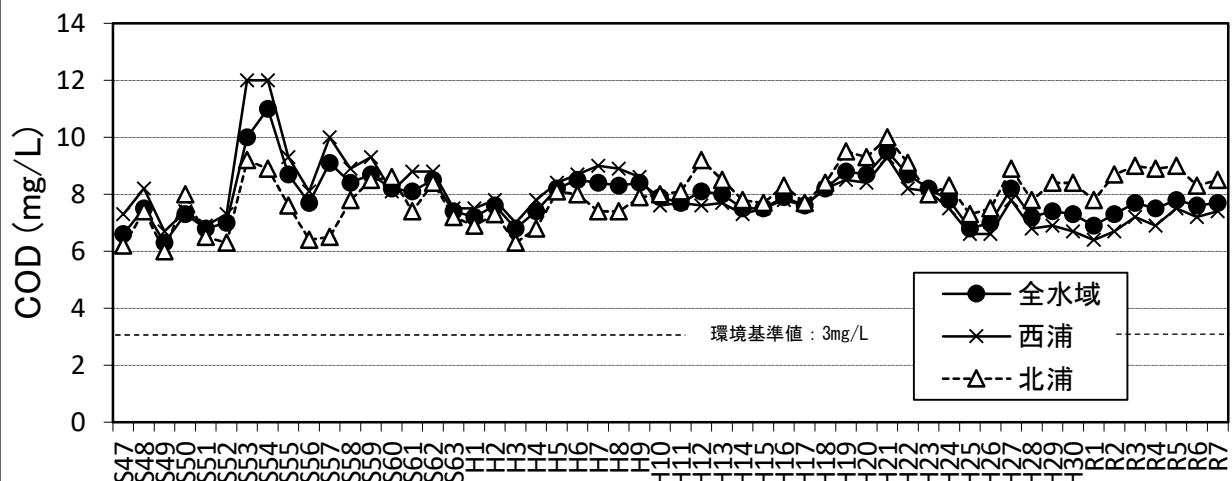


図2 全窒素（年平均値）

(mg/L)

水域/年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 目標
西 浦	1.1	0.82	0.82	0.62	0.80	0.97	0.95	0.77
北 浦	1.4	1.3	0.94	0.94	1.0	1.3	1.1	1.2
常陸利根川	1.1	0.80	0.74	0.58	0.77	0.89	0.77	0.76
全水域平均	1.1	0.94	0.83	0.69	0.85	1.0	0.94	0.88

環境基準値: 0.4

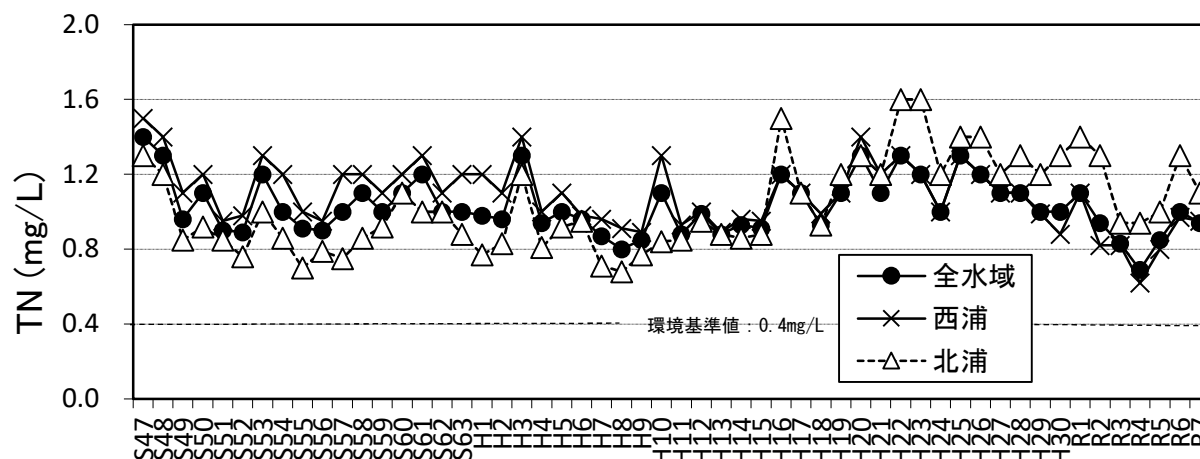
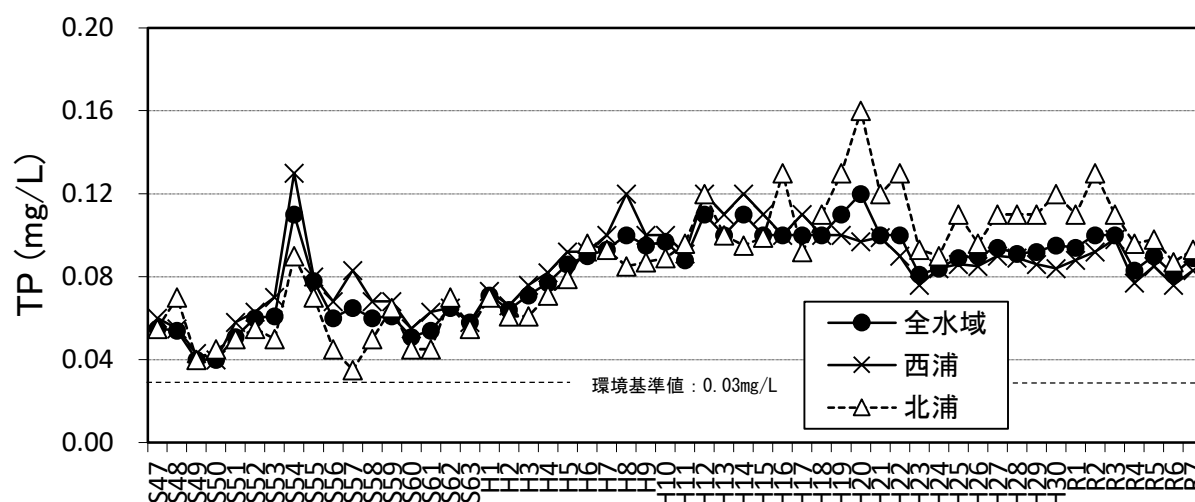


図3 全りん（年平均値）

(mg/L)

水域/年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7 目標
西 浦	0.088	0.092	0.098	0.077	0.085	0.076	0.084	0.087
北 浦	0.11	0.13	0.11	0.096	0.098	0.087	0.094	0.12
常陸利根川	0.091	0.097	0.095	0.083	0.092	0.087	0.096	0.093
全水域平均	0.094	0.10	0.10	0.083	0.090	0.081	0.089	0.095

環境基準値: 0.03



2. 流入河川の状況

(1) COD

西浦及び北浦流入河川ともに、長期的には低下傾向である。

(2) 全窒素

西浦流入河川は、長期的には横ばいである。

北浦流入河川は、平成 15 年度以降ほぼ 6 ～ 7 mg/L 程度で推移してきたが、近年は 6 mg/L を下回っている。

(3) 全りん

西浦及び北浦流入河川ともに、平成 19 年以降は 0.1 mg/L 以下で推移している。

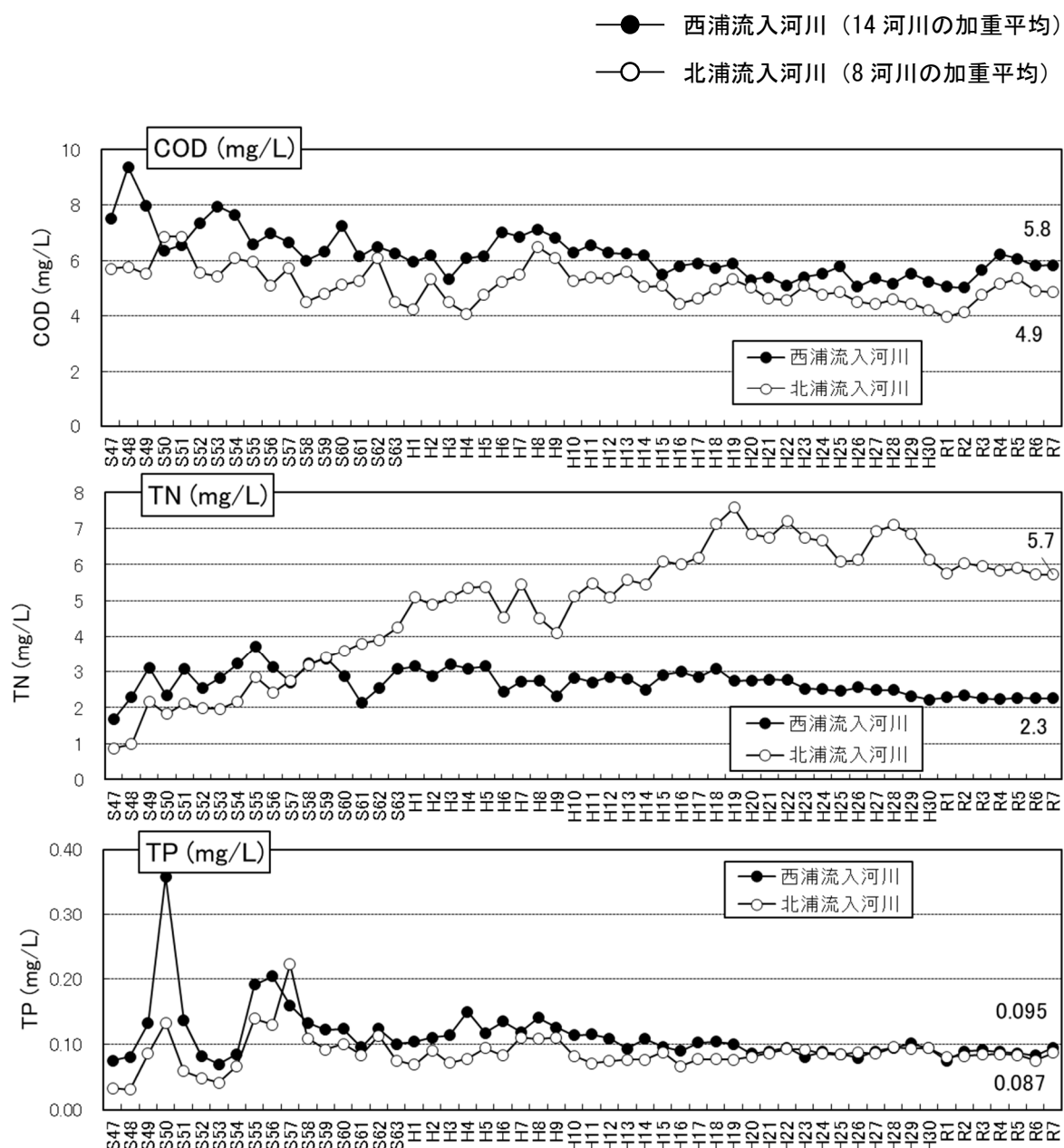


図4 流入河川の加重平均濃度（上：COD、中：TN、下：TP）

【参考】霞ヶ浦の環境基準点及び平均値等の算出方法について

湖内及び流入河川の調査は月 1 回晴天時、年合計 12 回、表層水を採取した。

○ 環境基準点（8 地点）

西浦：4 地点（掛馬沖、玉造沖、湖心、麻生沖）

北浦：2 地点（釜谷沖、神宮橋）

常陸利根川：2 地点（外浪逆浦、息栖）

※場所は下図のとおり。

○ 年平均値の算出方法

西浦：西浦の環境基準点 4 地点の年平均値の平均

北浦：北浦の環境基準点 2 地点の年平均値の平均

常陸利根川：常陸利根川の環境基準点 2 地点の年平均値の平均

全水域平均：霞ヶ浦全体の環境基準点 8 地点の年平均値の平均

※各水域の 75%値は、各水域における環境基準点の 75%値の平均

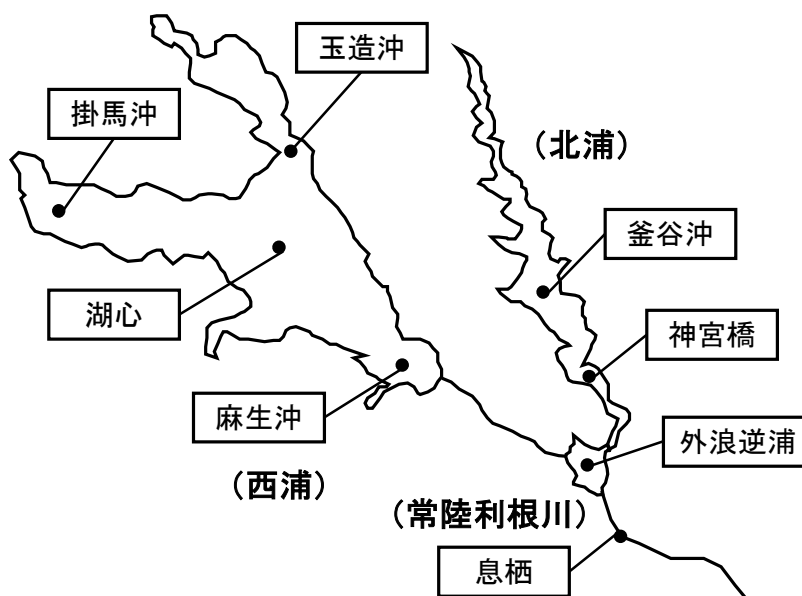


図 5 霞ヶ浦における環境基準点の位置

○ 流入河川の加重平均値の算出方法

西浦流入河川：各流入河川（14 河川^{※1}）の年度平均水質（濃度）に当該河川の流量^{※2}を掛け合わせたものを足し合わせ、流入河川の総流量で除した値

北浦流入河川：各流入河川（8 河川^{※1}）の年度平均水質（濃度）に当該河川の流量^{※2}を掛け合わせたものを足し合わせ、流入河川の総流量で除した値

※1 西浦流入河川：新利根川、小野川、清明川、花室川、備前川、桜川、新川、境川、一の瀬川、菱木川、恋瀬川、山王川、園部川、梶無川

北浦流入河川：雁通川、蔵川、山田川、武田川、巴川、鉾田川、大洋川、流川

※2 令和 7 年度の河川流量は集計中のため、令和 6 年度の河川流量を代用